

参加してみて楽しかったヨ！『ポイ捨て無くし隊』

平成13年度に学校、家庭、地域連携推進事業として組織された『子どもサポート会議』に於ける活動の一つに『ポイ捨て無くし隊』があります。

子どもを育てるには学校、保護者、地域社会でやることを、基本に親以外の大人と話す社会性が育つとも云われています。多くの人とふれあい、交流を深め、地域に懐く子どもに育ってほしいという願いを込めて行う地域の活動です。年間5回、地域の小学校（駒寄小、大庭小、滝の沢小、小糸小、石川小）に集合し、大人も子どもも一緒になって、自分達の住む街のゴミ拾い清掃活動です。



【第1回ポイ捨て無くし隊】

子曰わく 徳孤ならず 必ず隣あり = 里仁 =

「道徳を守るものは、孤立しているようにみえるが、けっしてそうではない。きっと良き理解者の隣人があらわれるものだ」という意味です。

第1回 参加者 419名 第2回 参加者 432名 第3回 参加者 386名

第4回 12月 9日（土）実施予定

第5回 2月17日（土）実施予定

みなさん是非ご参加をお願いいたします。

これからの主な事業紹介

■講演会「地域の子どもの現状」

講師 スクールサポーター 荒木眞一氏（藤沢北警察）

日時 平成30年1月20日（土）10時～12時

受付 9時30分より

会場 湘南大庭市民センター 小ホール

*上履き持参

*事前申込み 先着100名

■遊ing西高

3月17日（土）県立藤沢西高等学校で『遊ing西高』を開催します。高校生が講座を企画し講師となり地域の小学生を迎えます。中学生もサポート役として参加。異年齢の子ども達の交流の場として笑顔あふれる事業です。青少年育成協力会との共催で詳細は各小学校に配布の募集チラシをご覧ください。事前申込み制。

■春一番の音楽会

4月7日（土）大庭市民センター体育室にて『春一番の音楽会』を開催します。今年は内容を少し変更し、滝の沢中学校、大庭中学校、藤沢西高等学校の皆さんで春にふさわしい爽やかな演奏、発表をしていただきます。10時開場予定です。お問い合わせのうえ、ぜひ聴きにいらして下さい。

◇お申し込み・お問い合わせ先
大庭市民センター 0466-87-1111

問い合わせ・登録に関して

湘南大庭市民センター 0466-87-1111

子どもサポート会議事務局まで

平成29年度湘南大庭地区子どもサポート会議委員

会長	南 英 毅	社会福祉協議会副会長
副会長	高 谷 潔	小糸小学校長
副会長	細 沼 恵美子	青少年育成協力会会長
会 計	廣 瀬 健次郎	大庭子供の家庭委員会監査
会 計	岩 崎 公 一	要綱第4条第1項5号委員
監 事	東 谷 聡 子	青少年育成協力会副会長
監 事	長 田 勝 彦	民生委員・児童委員協議会副会長
委 員	遠 藤 冬 実	大庭中学校長
委 員	白 井 功	滝の沢中学校長
委 員	吉 住 潤	大庭小学校長
委 員	加 藤 優 子	滝の沢小学校長
委 員	細 川 淳 子	駒寄小学校長
委 員	小 泉 修 子	石川小学校長
委 員	森 本 祥 夫	藤沢西高等学校長
委 員	飯 島 弘 美	大庭中保護者代表（桔梗の会副会長）
委 員	木 村 祥 子	滝の沢中保護者代表（けやきの会代表）
委 員	阿 部 理 絵	大庭小保護者会（PTA）代表
委 員	後 藤 り か	駒寄小保護者代表
委 員	大 野 絵 美	小糸小保護者代表
委 員	高 平 和 恵	石川小保護者会代表（みんな石小会）
委 員	古 田 真 里	滝の沢小代表
委 員	松 井 良 孝	生活環境協議会副会長
委 員	芳 澤 周 司	要綱第4条第1項5号委員
委 員	渡 辺 宏 子	要綱第4条第1項5号委員
委 員	柳 生 純 子	要綱第4条第1項5号委員
委 員	河 野 由 美 子	要綱第4条第1項5号委員
委 員	山 本 享	要綱第4条第1項5号委員

湘南大庭地区 子どもサポートだより

第 16 号

2017年（平成29年）12月吉日

発 行：湘南大庭地区子どもサポート会議

事務局：湘南大庭市民センター

TEL 0466-87-1111

～地域に飛び出し！地域の一員として地域に懐く子～

会長 南 英毅

子どもサポート会議は、平成13年度に学校・家庭・地域連携推進事業として組織されました。「地域の子は、地域で育てる」ことを基本に、子ども達が「地域の一員として活動し、地域に懐く地域社会・環境づくり」を目指し、地域諸団体との連携を図りながら、事業に取り組んでいます。標記のテーマには、「子ども達が、ボランティアとして地域の行事等に参加し、多くの人とふれあい、交流を深め、地域に懐く子どもに育って欲しい」との願いを込めています。また子ども達が、ボランティア活動を通して、人として育つ上で重要な「社会性」の育ちを活動の目的にしています。今では、2,000名以上の児童生徒が「ポイ捨て無くし隊」「敬老会、ふるさと祭り（福祉バザー）」「春一番の音楽会」「遊ing西高」等の行事に参加し、また「子どもから見た“地域”写真・絵画展」も多くの応募があり、子ども達が活躍する地区になっています。

日頃より本会議の諸活動を支えていただいている、地区内の各小・中・高等学校の校長先生をはじめ、関係のみなさまに心より感謝申し上げます。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

三者連携事業視察研修報告『神奈川医療少年院』 平成29年11月28日

施設から社会へ…今年度の視察研修は、相模原市にある「神奈川県医療少年院」に行ってきました。

北海道・東北・関東甲信越、静岡を管轄、家庭裁判所の審判で少年院送致の決定を受けたおおむね12歳以上23歳未満の男子少年のうち、知的障害、又はその疑いのある者、情緒障害若しくは発達障害又はこれらの疑いのある者、及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要する少年を收容し、矯正教育等を施しています。現在、定員80名で17～22歳の少年（知的障害と発達障害が半々の割合）が、殺人や性犯罪などで審判を受け收容されています。

性格の矯正と環境の調整（保護者教育）をセットで考え、日々の生活指導を基本に、治療的指導によって自分の気持ちを適切に表現する方法、人と上手に関わっていくための技術を学ぶと共に、自立援助的職業指導により、働くことや創造することの大切さ、グループワーク、非行の原因に焦点を当てた指導、被害者の視点を取り入れた学習など、一人ひとりの健全育成と社会復帰に向けた「明日につなぐ」教育を指導の重点としています。

また、整理整頓や規則正しい生活、運動会や文化祭などの行事体験、陶芸など勤労意欲を高める治療的教育などをとおして、様々な場面に応じた適切な動作ができるよう日々学習しています。廊下の一角には売店が設けられ、少年院内の通貨を使って自分の必要な物品（ノート、鉛筆、下着、石鹸など）を買う機会と場が設定されているなど、様々な場面で、院内での日々や社会復帰した時の生活がスムーズにできるよう、一人ひとりを大事にした開放感のある教育が行われています。

小田原少年院の老朽化に伴い、神奈川県医療少年院は東京に移転し、小田原少年院がここに移転する計画になっているそうです。入院している少年達の一日でも早い社会復帰、そして、多感な時期の青少年の心情を理解し、温かく支援できる地域社会の創造を願いながら医療少年院を後にしました。



【明るく解放感のある施設】

子どもたちから見た「地域」写真・絵画展

12月1日から2月9日まで湘南大庭市民センターロビーにて

湘南大庭地区の風景を題材に、夏休みに小学生の子ども達が撮った写真や絵画の展示をします。自分達の通学路や見慣れた街なみなどを子どものユニークな視点や豊かな発想でとらえ、手書きの説明や想いが添えられています。ぜひ地域の多くの方々に見ていただき、湘南大庭地区を再発見していただけることを期待しています。

・前半：12/1～1/12

・後半：1/14～2/9

☆本年度は

・写真177点

・絵画 30点

応募がありました。

☆本年度よりポータルサイトでもご覧いただけます。

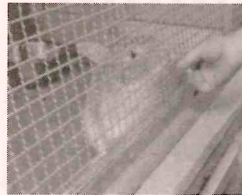


湘南大庭地区 私の学校自慢

藤沢市立大庭小学校（1976年創立 児童数512名） 校長 吉住 潤

大庭小学校には、二羽のウサギがいます。名前はパンダとコアラです。「ウサギなのに、何で？」と思われる方もいるかもしれませんが、実際に見れば納得していただけるのではないのでしょうか。

毎朝、飼育委員の子どもたちがえさと水をやり、小屋の掃除をしてくれています。



【うさぎのコアラ】

時々、「パンダ（コアラ）がいなくなっちゃった！」と大騒ぎになることもあります。たいていの場合、小屋を出て草むらに隠れています。そんなことがあっても、パンダとコアラは子どもたちの人気者です。通級の「ことばの教室」や「すまいる」に来る子どもたちも、パンダとコアラが大好きです。休みの日は、職員が交代でえさをやりに来ています。

大庭小学校の学校目標は「心豊かな子」です。二羽のウサギとふれあい、世話をすることによって、子どもたちの心に、きっと何かが残っていくと思います。私も、二羽がいつまでも元気でいてくれることを願っています。



【うさぎのパンダ】

藤沢市立滝の沢小学校（1979年創立 児童数655名） 校長 加藤 優子

この数年間、4月には2名ずつの新採用を迎えて来た本校は、若い教職員の割合が増えて来ました。そんな中、若手・中堅・ベテラン、それぞれの自覚と努力と思いやりが、のびのびと明るく元気な教職員集団をつくっています。

教材研究・児童指導等のさまざまな話し合いが、学年や分掌、研究会の場で行われますが、笑顔・思いやり・相互受容を心掛けつつ、楽しいだけではなく互いに切磋琢磨できる関係をめざしています。個々の持つ力や特性は異なっても教職員ひとりひとりが、自らの力を発揮し、日々の授業や教育活動を通してともに学校を創り上げる意識を育て合おうとするエネルギーのある教職員です。

スクールカウンセラーや図書館専門員等の専門スタッフや外部機関とのつながり、保護者や地域の方々による支援グループの協力も少しずつ確かな形になって来ています。そこに関わる全員が一体感を持ったコミュニティとしての学校の姿を思い描きながら、これからも日々の取り組みを行っていきたいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。



【チーム滝小】

藤沢市立駒寄小学校（1981年創立 児童数526名） 校長 細川 淳子

本校では、年間を通して1組グループ、2組グループ、3組グループに分かれて、「たてわり活動」に取り組んでおり、教室もたてわりを意図した配置にしています。1年生から6年生6、7名からなる班で定期的に行っている、たてわり給食やたてわり掃除「こまビカタイム」、運動会の整理体操「こまえもんストレッチ」の練習や休み時間に遊ぶ「たてわりスピード宝島」等を通して、他学年との結びつきは、強くなっていきます。

また、たてわりグループをいかした、異学年交流も盛んで、給食や掃除の時間に6年生が1年生のお世話に行ったり、3年生が先生役になって2年生とかけ算九九に取り組んだり微笑ましい光景がたくさん見られます。

このように、かかわり合い、学び合うことで、「元気、やる気、やさしさいっぱい、えがおあふれる駒寄小」を目指しています。今後も地域の皆様の応援をよろしくお願いいたします。



【たてわり活動】

藤沢市立小糸小学校（1982年創立 児童数272名） 校長 高谷 潔

小糸小の自慢は、子どもたちが学年を越えてお互いにとても仲が良いということです。そして、そればかりでなく、びっくりするほど他の学年の子のことをよく知っています。もともと1学年が50人を切るような小規模校ですし、毎年クラス替えをしているので、学年の子どもたちの仲がいいのは当然なのですが、様々な複学年での活動を行っていることも一つの要因です。運動会での高学年が演技する「よさこい」では、毎年6年生が責任をもって5年生を指導するという文化が続いていますし、駅伝大会もお互いに応援しあいます。遠足では1、2年生、3、4年生と複数学年で行動し、そこでも縦割りでグループを作り上級生の児童がグループのリーダーとなり活躍します。卒業までに何回も複学年の活動を経験するので、小糸小では上の子が下の子の面倒を見るという文化が自然とできあがっています。



【みんな仲良し小糸小】

藤沢市立石川小学校（1994年創立 児童数616名） 校長 小泉 修子

校内研究のテーマを「関わり合い、学び合い、認め合い、共に育つ子」とし、異年齢集団のペア学年活動（1年と6年、2年と5年、3年と4年）を実践しています。活動全般を通して、「ルールはね・・・」などと優しく丁寧に説明する上級生の姿があり、年齢の違いから自然な関わり合いが生み出される活動となっています。今後も継続して実践し、相手の気持ちを想像する力や協力して課題に取り組む力を育んでいきたいと考えます。また、クラスの枠を超えて、学年全体で関わり合う活動も広がってきました。様々に工夫して共に育つ教育環境を作り、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出していきたいと考えます。

子どもたちに笑顔があふれ、保護者・地域の皆様には信頼される学校となるよう努めてまいります。引き続きのお力添えをお願いいたします。



【交流グループで遊ぼう】

藤沢市立大庭中学校（1979年創立 生徒数535名） 校長 遠藤 冬実

大庭中では昨年度に引き続き誰もが参加できるユニバーサルデザインの視点に立った授業の研究を職員一同進めているところです。また日頃から、「真・善・美」に感動できる豊かな心を持った生徒の育成を目指しています。大庭中学校の学校自慢はもちろん生徒たちです。大庭中学校の生徒は思いやりのある素晴らしい生徒ばかりです。生徒たちの一生懸命活動する姿を見たり、話しているとほっとします。これは日頃から感性豊かに、全力で取り組むお子様に育てていただいたご家庭のおかげと感じています。

ところで大庭中学校の屋上からの空も素晴らしいです。HPの「屋上から」に、特に美しかったときの空を既に7回紹介しています。空ばかりでなく大庭中学校の周りには美しいものがたくさんあります。日頃から何気ない美しいものに気づける生徒であってほしいと願っています。今後とも大庭中学校の教育活動にご理解ご協力をお願いします。



【雨上がりの屋上から】

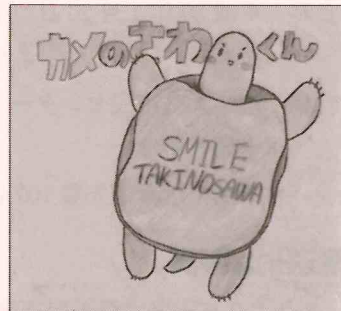
藤沢市立滝の沢中学校（1982年創立 生徒数746名） 校長 白井 功

「笑顔で挨拶」が教育目標の滝の沢中学校です。本校生徒会本部では、滝中イメージキャラクターを募集したところ「カメのさわくん」が見事1位となりました。職員室前の水槽で飼っており、科学部の生徒が世話をしている草ガメをキャラクターにしたものです。その草ガメの仕草に「ホッとする」「心が癒やされる」という生徒が多いことから選ばれたようです。

現在「カメのさわくん」は、生徒会本部が提案し生徒総会で承認された「いじめ撲滅規約」の宣伝役として、全校生徒に配付したクリアファイルの表紙を飾り、日々、子ども達のカバンの中でプリントや提出物のまともに頑張っています。

これからも、滝中のイメージアップと生徒の自治力向上に貢献してくれると思います。本物の草ガメ（カメ吉）は、校長が毎日散歩をさせており、とても元気です。

今後も、笑顔あふれる学校づくりをめざし努力してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



【カメのさわくん】

神奈川県立藤沢西高等学校（1974年創立 生徒数828名） 校長 森本 祥夫

藤沢西高校はここ大庭の地に誕生して創立44年目を迎えています。創立時には、地域の方々の熱い期待と並々ならぬご支援を賜り開校したと聞いております。これまで本校を卒業された1万4千名を超える同窓生の方々は社会の各方面にて大いに活躍されています。本校では耐震化のために校舎の建て替え工事を進めて参りましたが、このたび念願の新築校舎が完成しました。生徒たちは安全で安心できる新しい学習環境で日々充実した学校生活を送っています。

毎年、4月初めには本校吹奏楽部が「春一番の音楽会」で演奏させていただいており、3月には「遊 i n g 西高」で本校生徒と地域の小学生のみなさんが様々な交流をおこなっています。地域の方々とのつながりは生徒の人間の成長の糧ともなっており感謝しております。今後とも本校へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



【新校舎と新しい正門】